

くものいと

第14号
10-III-1994
関西クモ研究会
大阪府茨木市

北マリアナ諸島のクモ類

吉田 真

はじめに

千葉県立中央博物館から依頼を受け、採集された標本の同定を日本蜘蛛学会の方々にお願ひし、北マリアナ諸島のクモ類のリストを作成した。北マリアナ諸島でクモ類が調査されたのは、今回がおそらく初めてのことであろう。

十分に検討する時間がなかったために、今回は単なるリストの作成に留まり、北マリアナ諸島近辺の調査済みの地域との比較などができなかったが、これは今後の課題として引き続き検討していくつもりである。

標本の同定は以下の方々にお願ひした：谷川明男氏（神奈川県立七里が浜高校：コガネグモ科、アシナガグモ科など造網性のクモ類）、池田博明氏（神奈川県立青少年センター：ハエトリグモ科）、田中穂積氏（園田学園女子短期大学：コモリグモ科）、西川喜朗氏と加村隆英氏（追手門学院大学：ハエトリグモ科とコモリグモ科を除く徘徊性のクモ類）。多忙な時間を割いて同定して下さい。これらの方々に厚く御礼申し上げる。

北マリアナ諸島のクモ類リスト

Maug Is.

タマゴグモ科

Gamasomorpha sp. 1♀ 8juv.

ヤマシログモ科

Scytodes sp. 1♀

コガネグモ科

Argiope sp. 1juv.

Neoscona sp. 9juv.

アシナガグモ科		
<u>Leucauge</u> sp.		1♀ 1juv.
<u>Tetragnatha</u> sp.		1juv.
フクログモ科		
属種不明		2juv.
ワシグモ科		
属種不明		1juv.
ハエトリグモ科		
<u>Neon</u> sp.		2♂
<u>Plexippus</u> sp.		1♀
不明種		4juv.

A s u n c i o n I s .

ガケジグモ科		
<u>Titanoeca laminata</u> (Thorell, 1978)	1♀	和名：ミナミガケジグモ
タマゴグモ科		
<u>Gamasomorpha</u> sp.		1♀ 6juv.
ヤマシログモ科		
<u>Scytodes</u> sp.		1♀ 1juv.
ヒメグモ科		
<u>Theridion</u> sp.		1juv.
属種不明		1juv.
サラグモ科		
属種不明		1♀ 1juv.
コガネグモ科		
<u>Argiope</u> sp.		1juv.
<u>Neoscona theisi</u> (Walckenaer, 1841)	1♀	和名：ホシスジオニグモ
<u>Neoscona</u> sp.		3juv.
アシナガグモ科		
<u>Leucauge</u> sp.		1♂ 1juv.
コモリグモ科		
<u>Pardosa</u> sp.		2juv.
フクログモ科		
属種不明		1♀
ワシグモ科		

属種不明 5juv.
不明種 1juv.

P a g a n I s .

タマゴグモ科

Gamasomorpha sp. 1juv.

エンコウグモ科

Speocera sp. 1juv.

ヤマシログモ科

Scytodes sp. 1juv.

ユウレイグモ科

属種不明 1juv.

ヒメグモ科

Argyrodes sp. 1♀

Coleosoma floridanum Banks, 1900 1♀

コガネグモ科

Argiope appensa (Walckenaer, 1841) 2♀

Argiope sp. 2juv.

Neoscona sp. 1juv.

ハウシグモ科

属種不明 2♀ 1juv.

タナグモ科

属種不明 1juv.

コモリグモ科

Pardosa sp. 1♀ 1juv.

フクログモ科

属種不明 4juv.

ハエトリグモ科

Plexippus sp. 1♀

不明種 5juv.

S a r i g a n I s .

タマゴグモ科

Gamasomorpha sp. 1juv.

ヒメグモ科

<u>Argyrodes bonadea</u> (Karsch, 1881)	1♂	和名：シロカネイソウロ ウグモ
<u>Argyrodes</u> sp.	1juv.	
<u>Coleosoma floridanum</u> Banks, 1900	1♀	
属種不明	1juv.	
コガネグモ科		
<u>Argiope appensa</u> (Walckenaer, 1841)	1♀	
<u>Gasteracantha</u> sp.	1♀1juv.	
<u>Neoscona</u> sp.	1♂1juv.	
アシナガグモ科		
<u>Leucauge</u> sp.	1juv.	
コモリグモ科		
<u>Pardosa</u> sp.	1♂3♀	
フクログモ科		
属種不明	3juv.	
カニグモ科		
属種不明	5juv.	
ハエトリグモ科		
<u>Bavia</u> sp.	1♂	
属種不明	2♀	
不明種	1juv.	
U r a c u s I s .		
ヤマシログモ科		
<u>Scytodes</u> sp.	3juv.	
ユウレイグモ科		
属種不明	1♀	
コガネグモ科		
<u>Neoscona theisi</u> (Walckenaer, 1841)	2♀1♂	和名：ホシスジオニグモ
<u>Neoscona</u> sp.	6juv.	
コモリグモ科		
<u>Pardosa</u> sp.	1juv.	
ワシグモ科		
<u>Odontodrassus javanus</u> (Kulczynski, 1911)	1♀12juv.	和名：ミナミフトバワシグモ

ハエトリグモ科

<u>Plexippus</u> sp.	1♂
属種不明	1juv.
不明種	1juv.

G u g u a n I s .

タマゴグモ科

<u>Gamasomorpha</u> sp.	1juv.
-------------------------	-------

ヤマシログモ科

<u>Scytodes</u> sp.	2juv.
---------------------	-------

ユウレイグモ科

属種不明	1juv.
------	-------

ヒメグモ科

<u>Argyrodes</u> sp.	1juv.
<u>Coleosoma floridanum</u> Banks, 1900	4♀
<u>Chryso pulcherrima</u> (Mello-Leitao, 1917)	1♀
<u>Theridion</u> sp.	1juv.
属種不明	8juv.

コガネグモ科

<u>Neoscona theisi</u> (Walckenaer, 1841)	1♀ 和名：ホシスジオニグモ
<u>Neoscona</u> sp.	4juv.

アシナガグモ科

<u>Leucauge</u> sp.	1♀ 1juv.
---------------------	----------

フクログモ科

属種不明	1♀
------	----

ワシグモ科

属種不明	1juv.
------	-------

ハエトリグモ科

<u>Neon</u> sp.	1♀
属種不明	3♀
不明種	26juv.

A g r i h a n I s .

ヤマシログモ科

<u>Scytodes</u> sp.	3juv.
---------------------	-------

ユウレイグモ科

属種不明 1juv.

ヒメグモ科

Coleosoma floridanum Banks, 1900 2♀

Stemmopes sp. 1♀

属種不明 1♂ 7juv.

サラグモ科

属種不明 2♂ 1♀

コガネグモ科

Argiope appensa (Walckenaer, 1841) 1♀

Argiope sp. 2juv.

Neoscona theisi (Walckenaer, 1841) 1♀ 和名：ホシスジオニグモ

アシナガグモ科

Leucauge sp. 2♀ 1juv.

ハウシグモ科

属種不明 2♀

コモリグモ科

Pardosa sp. 1♂ 1♀ 15juv.

ハエトリグモ科

Athamas sp. 1♂

Bavia sp. 2juv.

不明種

1♀ 2juv.

A l a m a g a n I s .

ヒメグモ科

Achaeearanea sp. 2♀

Argyrodes bonadea (Karsch, 1881) 1♀ 和名：シロカネイソウロウグモ

Coleosoma floridanum Banks, 1900 1♂

属種不明 2juv.

サラグモ科

属種不明 1♂

コガネグモ科

Argiope sp. 1juv.

Cyrtophora moluccensis (Doleschall, 1857) 1♂ 和名：スズミグモ

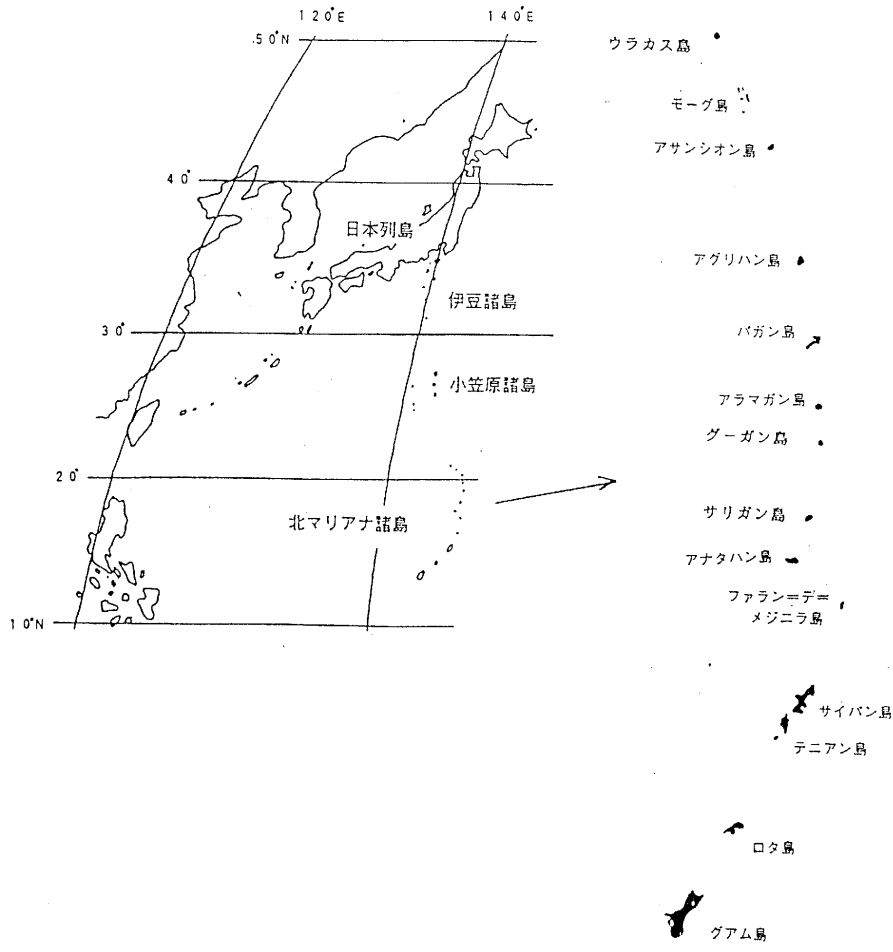
Cyrtophora sp. 2juv.

<u>Neoscona theisi</u> (Walckenaer, 1841)	1♂2♀ 和名：ホシスジオニグモ
<u>Neoscona</u> sp.	2juv.
アシナガグモ科	
<u>Leucauge</u> sp.	1♂2♀1juv.
フクログモ科	
属種不明	1♀
ハエトリグモ科	
<u>Neon</u> sp.	1juv.
不明種	1juv.

A n a t a h a n I s .

タマゴグモ科	
<u>Opopaea</u> sp.	1juv.
ユウレイグモ科	
Pholcidae gen. et sp.	4juv.
ヒメグモ科	
<u>Achaearanea</u> sp.	2♀
<u>Argyrodes bonadea</u> (Karsch, 1881)	2♀1♂ 和名：シロカネイソウロ ウグモ
<u>Argyrodes</u> sp.	1♀1juv.
<u>Coleosoma floridanum</u> Banks, 1900	5♀
属種不明	9juv.
サラグモ科	
属種不明	2♀
コガネグモ科	
<u>Argiope appensa</u> (Walckenaer, 1841)	3♀
<u>Argiope</u> sp.	1juv.
<u>Cyrtophora moluccensis</u> (Doleschall, 1857)	2♀1♂ 和名：スズミグモ
<u>Cyrtophora</u> sp.	4juv.
<u>Gasteracantha</u> sp.	1♀
アシナガグモ科	
<u>Leucauge</u> sp.	1♂2♀3juv.
カニグモ科	
属種不明	1juv.
コモリグモ科	

<u>Pardosa</u> sp.	5 ♀ 1 ♂
フクログモ科	
<u>Clubiona</u> sp.	1 ♂
アシダカグモ科	
属種不明	3 juv.
ハエトリグモ科	
属種不明	1 ♀ 1 ♂ 2 juv.
不明種	1 ♀ 2 juv.



カマキリモドキの幼虫の発見のお願い

西川喜朗

秋から春のクモの体の表面に、カマキリモドキの幼虫がよく付いています。もし、そのようなクモを採集されましたら、その情報をお知らせ下さい。

カマキリモドキの生活史

カマキリモドキの生活史は少ししか解っていません。この興味ある昆虫の生活史は、大阪府立大学農学部昆虫学教室の大学院生の平田慎一郎さんが研究されています。以下は平田さんに教えてもらったものの一部ですが、未発表のデータは公表を差し控えておきます。右肩の数字は以下の参考文献などによります：

卵—夏—どこに産むか？まき散らしか？

1 齢幼虫—クモに寄生：いつ、どのようにしてクモに付くか不明！葉の上でか？

地上でか？ハエトリグモ類^{1) 5)}，コマチグモ類^{2) 3)}，ヤチグモ類ほか⁵⁾に寄生。外国では書肺に入ったり，付いたりしている例がある⁵⁾。

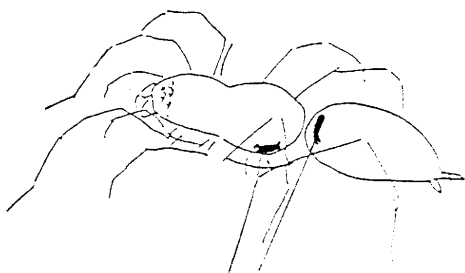
冬季の1 齢幼虫—クモの腹部の前方や頭胸部背甲の後方周辺部に付いている⁵⁾。

ルーペで観察できる。目の良い人は肉眼でも見える。しがみつきの型幼虫。

幼虫から成虫へ—初夏，宿主(?)のクモの卵のうの中に入り，卵を食べて成長する短脚のウジ虫型幼虫となる(過変態)³⁾。蛹化・羽化し，成虫になる³⁾。成虫は肉食(小さな虫)。

注意：クモを液浸にすると，カマキリモドキの幼虫はクモから離れる。アルコールの中をよく調べると，幼虫が入っていることがある。

1 齢幼虫の体長は約1 ミリ。一見，ハネのないアザミウマ。



こんなところに
付いている



カマキリモドキ1 齢幼虫

体長1 ミリ前後

うすい褐色

体節がよく見える

(イメージで描いた図)

参考文献

- 1) 蓮沼克己, 1980. 卵のうから出たムシ。Kishidaia, (45):28, 8.
- 2) 長谷川仁, 1959. クモ類の天敵。新昆虫, 12(4):40-41.
- 3) 三枝豊平, 1993. ツマグロカマキリモドキ。インセクトarium, 7月号: 26.
- 4) 吉倉眞, 1987. クモの生物学, p.400.
- 5) 平田慎一郎, 私信。

クモ雑録 (II)

八木沼健夫

5. キシノウエトタテグモの和名

明治22年3月1日(東大記念日)に、岸上謙吉博士は、東京大学構内で巢の入り口に扉をつけた地中性のクモを発見し、これにトタテグモという名を与えた。これがわが国でのトタテグモの最初の発見である。このことは動物学雑誌6巻6号に紹介されていて、岸上博士は「この日がわが国のクモ学の記念日になる」と記している。

これまでは外国産のトタテグモを紹介する際はアゲドグモ(揚戸蜘蛛)が用いられていた。トタテグモの漢字はもと戸閉蜘蛛であったが、発音に従って今では戸立蜘蛛が一般的である。戸立を用いたのは松村松年博士で、「面白き虫界の教材」(昭和3年, 東京堂)にみられる。「たてる」には閉ざす意味のほか、「設ける」意味もあるが、閉ざすの意味に用いられたのが早い。岸田久吉氏は長らく、中国古来の漢字「螿蟷」を用いた。

発見当時はこの種一種のみであったので、トタテグモと言えば、今の *Latouchia* (*Kishinoueeyus*) *typica* (Kishida, 1913)であったが、その後同類の別種が発見されるにおよび、他種と区別するために岸田氏は異名として発見者の姓を冠してキシノウエトタテグモを用いた。動物図鑑(北隆館)の初版(昭和2年)にはトタテグモ(異名キシノウエトタテグモ)として掲げ、その後この図鑑の増刷や学生版や改訂版にもこの用法が踏襲された。これがそもそもキシノウエトタテグモの名のおこりとなったが、当時はあくまでも異名であり、正式にはトタテグモであった。湯原清次著「蜘蛛の研究」(昭和6年)にもトタテグモ(キシノウエトタテグモ)として出ている。

キシノウエトタテグモが正式の名として独立して登場したのは岸田久吉著「蜘蛛の生活」(昭和8年, アルス)で、続いて平凡社の大百科事典(昭和1

3年6月)でも岸田氏はトタテグモの項で、キシノウヘトタテグモとして執筆している。三省堂の日本動物分類[9-2-1](昭和13年6月)には齊藤三郎氏はキシノウヘトタテグモ(トタテグモ)として取り上げている。

現行のキシノウエトタテグモが図鑑で正式に取り上げられたのは八木沼著「原色日本蜘蛛類大図鑑」(昭和35年,保育社)が最初で、以後は著者・著書が変わってもすべてキシノウエトタテグモが用いられている。

6. 大阪のワスレナグモ

昭和11年の夏,大阪府泉北郡南松尾村で採集したクモの中に,ジグモに似てずんぐりした立派な体格のクモがあった。当時はまだ駆け出し時代の私には何グモかわからなかった。その後もらった小松敏宏氏の「長野県産蜘蛛類の研究」(信濃教育,595号,1936)に素晴らしいワスレナグモの図があり,これで初めて名を知ることができた。このときの嬉しさはいまだに忘れられない。ふたたびこのクモを採集したく,大阪府各地を探し歩いたが,見つからなかった。

昭和19年戦争たけなわとなり,各家庭に防空壕を作るようにすすめられ,わが家でも南側の猫の額のような小さい庭に,2-3人用の防空壕を作った。今にして思えばチャチなもので,気休め程度のものでしかなかった。この工事中に,ふり上げた鍬の先にジグモの巣のようなものがひっかかっていた。手にとってみると,管状の袋の先がふくらんでいる。袋を破ると出て来たのが待望のワスレナグモの立派な雌であった。遠くまで何度も出かけて見つからなかったワスレナグモが,わが家の庭ですでにクモ自身の防空壕を作っていたのだった。その後この庭の生垣の根元でいくつかの巣を見つけた(東住吉区)。

大阪府内でわかった産地は,南河内郡古市町(戦時中の学童疎開先,昭和20年),東区(当時の勤務先の追手門学院校庭),天王寺区,生野区,住吉区,旭区,茨木市,箕面市などで,最近では西区の鞆公園で桂孝次郎氏が多数発見し,TVでも放映された。以上は私自身のメモによるもので,大阪府下の他のところでも見つけている人が多数あるにちがいない。

以上はすべて雌であったが,ヒメワスレナグモと同定していたものが,ワスレナグモの雄であることがあとではっきりした。このことについてすでに推測があったが,私が岸田先生にお会いしたとき,同種であると申され,これでケリがついたのである。

7. クワガタアリグモが授業中に

昭和56年6月9日,生物の授業をしていたとき,ふと目の前に教卓に向かって一匹のクモが天井から糸を引いておりて来た。5ミリくらいの小さな黒っ

ばいクモである。「講義は2分間休憩，いま大事な虫がとれたので」と言いながら，紙片を出して包んだ。

家に持ち帰ってよく見ると，上顎の牙に枝のあるクワガタアリグモだった。このクモは昭和26年に，友人の興津伸二氏が山形で採られたのを，私その後調べて新種と認めたのであるが，念を入れて研究している間に発表が遅れ，昭和42年にやっと命名発表したのである。牙の様子がクワガタムシの大顎のようなので，クワガタアリグモと名付けたのである。その後日本の各地で採集され，何度か同定したことがあるが，名付け親の私自身が採ったのはこのときが初めてである。クモもよりによって私の目の前に下りてくるとは。まだ採集したことがないのでクモの方から身を捧げてくれたのかも知れない。

8. クモの漢字「蜘蛛」の語源の別説

クモの漢字「蜘蛛」は，中国の北京の政治家王安石の字説（1080年）に出ている「設一面之網，物触而後誅之。知誅義者也，故曰蜘蛛。」に由来することは，一般に知られており，語源としては一応定着している。蜘蛛の文字は「康熙字典」に出ているが，もとはもっと古い辞書「説文解字」（後漢の許慎の著。B.C.100年頃）に出ている複雑な文字（𧈧）であったのが，のち蜘蛛となったのだという。

ところが，蜘蛛の語源として別の説がある。すでに読まれた方もあると思うが，朝日ラールの週刊世界動物百科の1974年179号がクモの特集号であり，この巻末の29頁に有名な藤堂明保氏がクモの文字について次のように解説しておられる。クモの漢字はもと「跼蹐」であったという。この文字の意味は，行っでは止まり，止まっては行く，すなわちためらいつつ進んでいくという意味があり，この状態を跼蹐という。クモが網を張るに際して，行きつもどりつしながら進む状態からクモのことを跼蹐と記し，のちこれが蜘蛛になったのだという。いずれが本来の語源か私にはわからないが，権威ある大先生の興味ある説として紹介しておく。この説では蜘蛛の知は知ると関係なく，また蛛の朱もあかいたと言う意味ではないとしている。福建や台湾では石けり遊びを跼蹐と称するよし（大阪ではケンバという）。

9. 人面グモ

コイで頭部に人の顔に似た模様のあるものがあらわれ，人面ゴイとしてTVや新聞に取り上げられたことがある。

これに続いて，佐賀県でクモの腹背に人面のような斑紋のあるものが採集され，人面グモとして新聞で紹介された。このクモに関して某TV局から私のと

ころに電話があり、人面グモについていろいろ質問された。その時、私は「とくに取り上げるほどのものではない、変異ある斑紋の中で、たまたま見方によっては人の顔に見えるものがあっただけで、ごくふつうに全国どこにでもいるハナグモで、珍しいクモではない」と返事したが、承知しない。「地元のクモの先生に直接会って話を聞きたい。実は支局が福岡にあるので、九州北部におられるクモの先生どなたかを教えてほしい」との返事だったので、ご迷惑とは思ったが、九州大学の熊千代子先生を紹介した。「でもニュースの価値のあるものではないから、とくに取材の必要はないのでは」とつけ加えた。何日かして、そのTVでアナウンサーと熊さんとの対談の形で放映されたが、熊さんのお話も私の返事と同じような内容であった。

人面グモが出たついでに、これもニュースにはならないが、別の人面グモの写真をお目にかける。カラー写真を白黒コピーしたもので、もとの像が忠実に出ていなくて残念だが、この方がまだ人面に似ているのでは？鉢巻をしたオッサンに見えないか？写真はシロオビトリノフンダマシ、高知県佐川町で、1974年5月1日、八木沼写す。



前回の訂正

クモ雑録(1)の1の「Hatterは帽子屋かクモか」の記事中、帽子屋が水銀をフェルトをカールするのに用いると記したが、これはフェルトを硬化するに訂正する。私のメモのcurlのeが長くのびてlに見え、curlと解したためである。おそまつなミス。

滋賀県のクモ類

吉田 真

滋賀県は中央部に、日本最大の湖である琵琶湖を抱えている。琵琶湖の湖岸線は235キロ、面積675平方キロで、滋賀県の総面積の約6分の1を占める。この日本最大かつ最古の湖には固有種が多く、固有種を含め琵琶湖に棲む動物たちについては多くの報告が書かれている（たとえば松田、1991；三浦、1971, 1991；森、1971；中、1991；岡野、1991；津田、1971；友田、1991）。プランクトン相・魚類相などの近年の変化を、琵琶湖の水質の悪化・富栄養化と関連づけて論じた報告も多い（たとえば生嶋、1991；三浦、1991；中、1991；若林、1991）。また、琵琶湖周辺には大小の内湖、沼、ため池が散在しており、多数の水鳥の越冬地となっている。

また滋賀県の西部には比良・比叡山系が、東部には伊吹山系、鈴鹿山系が並び、周囲が標高1000m前後の山々に囲まれた大きな盆地となっている。山々にはコナラ・クヌギなどの落葉広葉樹林が多く、アカマツ林も多い。滋賀県の陸上動物についても、昆虫類・鳥類・哺乳類など多くの報告がある（安藤、1991；遠藤ほか、1991；保賀、1991；市橋、1991；口分田ほか、1991；宮崎、1991；水谷、1991；森、1991；岡田ほか、1971；新保、1971, 1991；新保ほか、1979；寺西、1991）。

これに対して、滋賀県のクモ類についてはこれまでほとんど調べられておらず、まとまった報告もない。そこでこの小論では、滋賀県のクモについて述べられている断片的な報告や、筆者の調査結果およびクモ研究者数人の未発表データをまとめ、「滋賀県のクモ」として報告する。

八木沼健夫先生と西川喜朗氏、橋屋誠氏には文献を多数紹介して頂き、未発表のデータも提供して頂いた。貝発憲治氏には文献を紹介して頂いた。また、畑守有紀氏と金野晋氏には未発表のデータを提供して頂いた。ここに厚く感謝する。

滋賀県のクモ類リスト

クモの和名の右肩の数字は以下の文献または採集者による。

- 1) 橋本・貝発・太田、1984.
- 2) 加村隆英、1987a, 1987b, 1987c, 1988, 1989および未発表データ.
- 3) 植村利夫、1939.
- 4) 畑守有紀、未発表データ
- 5) 西川喜朗、1972, 1973, 1975, 1976, 1977a, 1977b, 1980b, 1987,

1989および未発表データ

- 6) 田中穂積、1988.
- 7) 新海明、未発表データ
- 8) 大志茂善平、1954.
- 9) 小野武比古、1966.
- 10) 八木沼健夫、未発表
- 11) 大井、1960.
- 12) 八木沼健夫・西川喜朗、1976.
- 13) 金野晋、未発表
- * 吉田採集 (大津市葛川坂下町)
- + 吉田採集 (大津市伊香立途中町)
- # 吉田採集 (高島郡朽木村)

原蛛亜目

カネコトタテグモ科

カネコトタテグモ^{4) 5)} Antrodiaetus roretzii (L. Koch)

トタテグモ科

キシノウエトタテグモ^{4) 5) 7)} Latouchia typica (Kishida)

キノボリトタテグモ^{4) 5) 10)} Ummidia fragaria (Doenitz)

ジグモ科

ジグモ^{4) 5) 9)} Atypus karschi Doenitz

ジグモの一種^{4) 12)} Atypus sp. A

ワスレナグモ⁹⁾ Calommata signata Karsch

新蛛亜目

ガケジグモ科

ヤマトガケジグモ⁵⁾ Titanoeca albofasciata Strand

ハグモ科

ヒナハグモ⁹⁾ Dictyna foliicola (Boes. et Str.)

カレハグモ⁹⁾ Lathys humilis Blackwall

ウズグモ科

マネキグモ^{4) 9)} Miagrammopes orientalis Boes. et Str.

トウキョウウズグモ⁹⁾ Octonoba sinensis (Simon)

カタハリウズグモ^{4) 9)} Octonoba sybotides (Boes. et Str.)

ウズグモ^{1) 8) 9) +} Octonoba varians (Boes. et Str.)

ヤマシログモ科

ヤマシログモ³⁾ Scytodes striatipes (L. Koch)

ユカタヤマシログモ^{4) 9)} Scytodes thoracicus (Latreille)

マシラグモ科

マシラグモ属の一種^{1) 2)} Leptoneta sp.

エンマグモ科

ミヤグモ^{4) 9)} Ariadna lateralis (Karsch)

ユウレイグモ科

ユウレイグモ^{4) 8) 9)} Pholcus crypticolens Boes. et Str.

イエユウレイグモ⁹⁾ Pholcus phalangioides (Fuesslin)

ヒメグモ科

ツリガネヒメグモ⁴⁾ Achaearanea angulithorax (Boes. et Str.)

カグヤヒメグモ⁴⁾ Achaearanea culicivora (Boes. et Str.)

ヒメグモ^{4) 8) 9) +} Achaearanea japonica (Boes. et Str.)

オオヒメグモ^{1) 2) 8) 9) +} Achaearanea tepidariorum (C. Koch)

アシプトヒメグモ^{1) 10)} Anelosimus crassipes (Boes. et Str.)

シロカネイソウロウグモ^{4) 8) 9)} Argyrodes bonadea (Karsch)

オナガグモ^{1) 8) 9) +} Argyrodes cylindrogaster (Simon)

チリイソウロウグモ^{8) 9) 10)} Argyrodes fissifrons O. P.-Cambridge

フタオイソウロウグモ^{1) 7) 8) 9)} Argyrodes fur Boes. et Str.

アカイソウロウグモ^{8) 9)} Argyrodes miniaceus (Doleschall)

ヤリグモ^{1) 8) 9) + +} Argyrodes saganus (Doen. et Str.)

ホシミドリヒメグモ¹⁾ Chryso punctifera (Yaginuma)

ボカシミジングモ¹⁾ Dipoena castrata Boes. et Str.

カニミジングモ¹⁾ Dipoena mustelina (Simon)

シモフリミジングモ⁷⁾ Dipoena punctisparsa Yaginuma

カレハヒメグモ^{4) 5) 8) 9)} Enoplognatha transversifoveata (Boes. et Str.)

ヒシガタグモ^{1) 9)} Episinus affinis Boes. et Str.

ハラナガヒシガタグモ¹⁾ Episinus mirabilis Boes. et Str.

ハンゲツオスナキグモ⁴⁾ Steatoda cavernicola (Boes. et Str.)

スネグロオチバヒメグモ⁵⁾ Stemmops nipponicus Yaginuma

バラギヒメグモ^{4) 7) 9)} Theridion chikunii Yaginuma

ギボシヒメグモ^{1) 9)} Theridion rapulum Yaginuma

コケヒメグモ⁷⁾ Theridion subadultum Boes. et Str.

- ムナボシヒメグモ^{8) 9) *} Theridion sterninotatum Boes. et Str.
 タカユヒメグモ^{1) 8) 9)} Theridion takayense Saito
 ユノハマヒメグモ^{8) 9)} Theridion yunohamense Boes. et Str.
- ホラヒメグモ科
 コホラヒメグモ⁵⁾ Nesticus brevipes Yaginuma
 スズカホラヒメグモ²⁾ Nesticus suzuka Yaginuma
- サラグモ科
 ホラヤミサラグモ^{2) 11)} Arcuphantes troglodytarum (Oi)
 ザラアカムネグモ⁵⁾ Asperthorax communis Oi
 ホラヌカグモ^{2) 11)} Caviphantes samensis Oi
 デーニッツサラグモ⁵⁾ Doenitzius peniculus Oi
 アシヨレグモ^{4) 7)} Labulla contortipes (Karsch)
 ハンモックサラグモ⁹⁾ Linyphia angulifera Schenkel
 クスミサラグモ^{1) *} Linyphia fusca Oi
 ツリサラグモ⁴⁾ Linyphia japonica Oi
 フタスジサラグモ^{1) *} Linyphia limbatinella (Boes. et Str.)
 アシナガサラグモ^{1) 9) 11) +} Linyphia longipedella (Boes. et Str.)
 ヤマジサラグモ^{8) 10)} Linyphia montana (Clerck)
 ムネグロサラグモ¹¹⁾ Linyphia nigripectoris (Oi)
 ヘリジロサラグモ^{8) 9) 10)} Linyphia oidedicata (Helsdingen)
 シロブチサラグモ^{8) 9) 10)} Linyphia radiata Walck.
 ユノハマサラグモ^{1) 7) 8) 9) *} Linyphia yunohamensis (Boes. et Str.)
 クボミケシグモ¹¹⁾ Meioneta concava Oi
 ゴカクケシグモ¹¹⁾ Meioneta pentagona Oi
 ツノケシグモ¹¹⁾ Meioneta projecta Oi
 ヒロテゴマグモ¹¹⁾ Micrargus latitegulatus Oi
 アリマネグモ^{5) 11)} Solenysa meleotiei Simon
 ヨツボシサラグモ^{*} Strandella quadrimaculata (Uyemura)
 スカグモ¹⁾ Tmeticus japonicus Oi
 セスジアカムネグモ⁹⁾ Ummeliata insecticeps (Boes. et Str.)
 コテングヌカグモ¹¹⁾ Walckenaeria vulgaris (Oi)
- センショウグモ科
 センショウグモ^{8) 9) 10)} Ero japonica Boes. et Str.
 ハラヒロセンショウグモ¹⁾ Mimetus japonicus Uyemura
- カラカラグモ科

ヤマジグモ¹⁾ Ogulinus pullus Boes. et Str.
 カラカラグモ⁹⁾ Theridiosoma epeiroides Boes. et Str.
 ヨリメグモ科
 ヨロイヒメグモ¹⁾ Comaroma maculosum Oi
 コツブグモ科
 ナンプコツブグモ¹³⁾ Mysmenella jobi (Kraus)
 コガネグモ科
 ハツリグモ^{9) 10)} Acusilas coccineus Simon
 ムツボシオニグモ³⁾ Araneilla sp. A
 ムツボシオニグモの一種^{8) 9)} * Araneilla sp. B
 ナカムラオニグモ^{5) +} Araneus cornutus Clerck
 ヌサオニグモ^{4) 9)} * Araneus ejusmodi Boes. et Str.
 イシサワオニグモ^{8) 9)} * Araneus ishisawai Kishida
 ビジョオニグモ⁹⁾ Araneus mitificus (Simon)
 アオオニグモ^{1) 8)} Araneus pentagrammicus (Karsch)
 トガリオニグモ⁹⁾ Araneus pseudocentrodes Boes. et Str.
 コゲチャオニグモ^{1) 9) +} Araneus punctigera (Doleschall)
 マルツメオニグモ⁹⁾ Araneus semilunaris (Karsch)
 ヤマオニグモ⁹⁾ Araneus uyemurai Yaginuma
 ニシキオニグモ¹³⁾ Araneus variegatus Yaginuma
 オニグモ^{1) 8) 9) +} Araneus ventricosus (L. Koch)
 ハラビロミドリオニグモ⁵⁾ Araneus viridiventris Yaginuma
 コガネグモ^{4) 8) 9)} Argiope amoena L. Koch
 チュウガタコガネグモ^{4) 9) 10)} Argiope boesenbergi Levi
 ナガコガネグモ^{3) 4) 8) 9) +} Argiope bruennichii (Scopoli)
 コガタコガネグモ^{9) 10) +} Argiope minuta Karsch
 ギンメッキゴミグモ^{4) 9)} Cyclosa argenteoalba Boes. et Str.
 カラスゴミグモ^{1) 3) 8) 9)} Cyclosa atrata Boes. et Str.
 キジロゴミグモ⁸⁾ Cyclosa laticauda Boes. et Str.
 ヤマゴミグモ¹⁰⁾ Cyclosa monticola Boes. et Str.
 ゴミグモ^{4) 8) 9) +} Cyclosa octotuberculata Karsch
 ヨツデゴミグモ^{1) 8) 9)} Cyclosa sedeculata Karsch
 シマゴミグモ¹⁰⁾ Cyclosa sp.
 トリノフンダマシ^{8) 9) 10)} * Cyrtarachne bufo (Boes. et Str.)
 オオトリノフンダマシ^{8) 9)} * Cyrtarachne inaequalis Thorell

- シロオビトリノフンダマシ^{8) 9) 10)} Cyrtarachne nagasakiensis Strand
クロトリノフンダマシ¹⁰⁾ Cyrtarachne nigra Yaginuma
アカイロトリノフンダマシ^{8) 9) 10)} Cyrtarachne yunoharuensis Strand
スズミグモ¹¹⁾ Cyrtophora moluccensis (Doleschall)
トゲグモ⁹⁾ Gasteracantha kuhlii C. Koch
ヨツボシシヨウジヨウグモ¹⁰⁾ Hypososinga pygmaea (Sundevall)
ドヨウオニグモ⁹⁾ Neoscona adianta (Walckenaer)
コガネグモダマシ^{9) 10)} Larinia argiopiformis Boes. et Str.
ヤミイロオニグモ^{11) 8) 9)} Neoscona fuscocolorata (Boes. et Str.)
ワキグロサツマノミダマシ^{11) 8) 9) *} Neoscona mellottei (Simon)
イエオニグモ⁹⁾ Neoscona nautica (L. Koch)
ヤマシロオニグモ^{11) 9) 7) 8) 9)} Neoscona scylla (Karsch)
サツマノミダマシ^{11) 9) 5) 9)} Neoscona scylloides (Boes. et Str.)
ゲホウグモ¹²⁾ Polytys illepidus C. Koch
ズグロオニグモ⁴⁾ Yaginomia sia (Strand)
サガオニグモ^{4) 9)} Zilla astridae (Strand)
カラフトオニグモ¹⁰⁾ Zilla sachalinensis (Saito)
- アシナガグモ科
- オオシロカネグモ^{11) 5) 8) 9) *} Leucauge magnifica Yaginuma
コシロカネグモ^{11) 8) 9)} Leucauge subblanda Boes. et Str.
キラシロカネグモ^{11) 8) 9)} Leucauge subgemmea Boes. et Str.
ヤマジドヨウグモ⁷⁾ Meta reticuloides
タニマノドヨウグモ^{11) 9) *} Metleucauge kompirensis Boes. et Str.
メガネドヨウグモ^{11) *} Metleucauge yunohamensis (Boes. et Str.)
チクニドヨウグモ⁷⁾ Metleucauge chikunii Tanikawa
キンヨウグモ^{10) *} Menosira ornata Chikuni
ジョウグモ^{11) 9) *} Nephila clavata L. Koch
キヌアシナガグモ¹¹⁾ Tetragnatha lauta Yaginuma
ヤサガタアシナガグモ^{11) 8) 9) *} Tetragnatha maxillosa Thorell
アシナガグモ^{4) 8) 9) *} Tetragnatha praedonia L. Koch
ウロコアシナガグモ^{9) 10) *} Tetragnatha squamata Karsch
- ヒラタグモ科
- ヒラタグモ^{11) 8) *} Uroctea compactilis L. Koch
- タナグモ科
- クサグモ^{11) 8) 9)} Agelena limbata Thorell

- コクサグモ^{5) 7) 8) 9) *} Agelena opulenta L. Koch
 コタナグモ⁵⁾ Cicurina japonica (Simon)
 ホラスミヤチグモ⁵⁾ Coelotes antri (Komatsu)
 ヤマヤチグモ⁵⁾ Coelotes corasides Boes. et Str.
 ウスイロヤチグモ⁵⁾ Coelotes decolor Nishikawa
 クロヤチグモ⁵⁾ Coelotes exitialis L. Koch
 シモフリヤチグモ⁵⁾ Coelotes insidiosus L. Koch
 ヒメシモフリヤチグモ⁵⁾ Coelotes interunus Nishikawa
 メガネヤチグモ⁵⁾ Coelotes luctuosus L. Koch
 カメンヤチグモ⁵⁾ Coelotes personatus Nishikawa
 ヒメヤチグモ⁵⁾ Coelotes tarumii Arita
 デベソヤチグモ⁵⁾ Coelotes tumidivulva Nishikawa
 カミガタヤチグモ⁵⁾ Coelotes yaginumai Nishikawa
 ヤチグモの一種⁵⁾ Coelotes sp.
 カチドキナミハグモ^{8) 10)} Cybaeus nipponicus (Uyemura)
 ナミハグモの一種⁵⁾ Cybaeus sp.
 イエタナグモ⁹⁾ Tegenaria domestica (Clerck)
- キシダグモ科
- スジプトハシリグモ⁹⁾ Dolomedes pallitarsis Doen. et Str.
 アオグロハシリグモ¹⁾ Dolomedes raptor Boes. et Str.
 スジアカハシリグモ^{9) 10)} Dolomedes saganus Boes. et Str.
 イオウイロハシリグモ^{4) 9) *} Dolomedes sulfureus L. Koch
 アズマキシダグモ¹⁾ Pisaura lama Boes. et Str.
- コモリグモ科
- タイリクミズコモリグモ⁵⁾ Arctosa cinerea (Fabricius)
 カガリビコモリグモ⁵⁾ Arctosa depectinata (Boes. et Str.)
 ヒノマルコモリグモ¹⁾ Arctosa japonica Simon
 ハラクロコモリグモ⁵⁾ Lycosa coelestis L. Koch
 ウヅキコモリグモ^{9) 10) *} Pardosa astrigera L. Koch
 ヤマハリゲコモリグモ⁵⁾ Pardosa brevivulva Tanaka
 ハリゲコモリグモ^{1) *} Pardosa laura Karsch
 キクヅキコモリグモ⁹⁾ Pardosa pseudoannulata (Boes. et Str.)
 クラークコモリグモ¹⁾ Pirata clercki (Boes. et Str.)
 チビコモリグモ^{5) 9)} Pirata procurvus (Boes. et Str.)
- ササグモ科

- ササグモ^{4) 9)} Oxyopes sertatus L. Koch
- フクログモ科
- ジガバチグモの一種⁴⁾ Castianeira sp.
- アシナガコマチグモ^{1) 9)} Chiracanthium eutittha Boes. et Str.
- カバキコマチグモ^{3) 9)} Chiracanthium japonicum Boes. et Str.
- コフクログモ^{1) 9)} Clubiona corrugata Boes. et Str.
- ハマキフクログモ^{3) 10)} Clubiona japonicola Boes. et Str.
- ヤハズフクログモ³⁾ Clubiona jucunda (Karsch)
- ムネアカフクログモ^{1) 9)} Clubiona vigil Karsch
- イタチグモ^{1) 4)} Itatsina praticola (Boes. et Str.)
- コムラウラシマグモ^{1) 5)} Phrurolithus komurai Yaginuma
- ヤバネウラシマグモ⁴⁾ Phrurolithus pennatus Yaginuma
- アシダカグモ科
- コアシダカグモ^{1) 5) 9)} Heteropoda forcipata (Karsch)
- アシダカグモ⁹⁾ Heteropoda venatoria (Linnaeus)
- カマスグモ⁹⁾ Theleticopsis severa (L. Koch)
- アワセグモ科
- アワセグモ^{3) 4)} Selenops bursarius (Karsch)
- シボグモ科
- シボグモ^{4) 5)} Anahita fauna Karsch
- イツツグモ科
- イツツグモ^{3) 10) 4)} Anyphaena pugil Karsch
- ワシグモ科
- フタホシテオノグモ²⁾ Callilepis schusztteri (Herman)
- エビチャヨリメケムリグモ²⁾ Drassyllus sanmenensis Platnick et Song
- ヤマヨリメケムリグモ⁴⁾ Drassyllus sasakawai Kamura
- メキリグモ^{2) 5) 9)} Gnaphosa kompirensis Boes. et Str.
- カワラメキリグモ²⁾ Gnaphosa kamurai Ovtsharenko, Platnick et Song
- ナミトンビグモ⁴⁾ Herpyllus anatolicus Kamura
- クロチャケムリグモ²⁾ Zelotes asiaticus (Boes. et Str.)
- ヒロズケムリグモ²⁾ Zelotes potanini Schenkel
- クロケムリグモ²⁾ Zelotes tortuosus Kamura
- カニグモ科
- キハダカニグモ^{4) 7) 9)} Bassaniana decorata (Karsch)
- コカニグモ^{4) 9)} Coriarachne fulvipes (Karsch)

コハナグモ^{1) *} Diaea subdola O. P.-Cambridge
 アシナガカニグモ⁹⁾ Heriaeus mellottei Simon
 アマギエビスグモ^{*} Lysiteles coronatus (Grube)
 ハナグモ^{1) 9) *} Mismenops tricuspидatus (Fabricius)
 ワカバグモ^{1) 9) * +} Oxytate striatipes L. Koch
 ガザミグモ^{9) 10)} Pistius undulatus Karsch
 チクニエビスグモ^{*} Synaema chikunii Ono
 フノジグモ^{1) 9)} Synaema globosum (Fabricius)
 アズチグモ^{1) 9)} Thomisus labefactus Karsch
 トラフカニグモ^{1) 9)} Tmarus piger (Walck.)
 セマルトラフカニグモ^{*} Tmarus rimosus Paik
 ヤミイロカニグモ^{1) 9)} Xysticus croceus Fox

エビグモ科

キエビグモ^{1) *} Philodromus flavidus S. Saito
 キハダエビグモ^{4) 9)} Philodromus rufus Walckenaer
 アサヒエビグモ^{9) 10)} Philodromus subaureolus Boes. et Str.
 ヤドカリグモ¹⁾ Thanatus miniaceus Simon
 シャコグモ^{1) 7) 9)} Tibellus tenellus (L. Koch)

ハエトリグモ科

ネコハエトリ^{1) 9)} Carrhotus xanthogramma (Latreille)
 イナズマハエトリ⁹⁾ Euophrys undulatovittata Boes. et Str.
 マミジロハエトリ^{4) 9) *} Evarcha albaria (L. Koch)
 ウデブトハエトリ^{1) 9)} Harmochirus brachiatus (Thorell)
 アダンソンハエトリ^{9) *} Hasarius adansoni (Audouin)
 デーニッツハエトリ^{1) 9) *} Hasarius doenitzii Karsch
 オオハエトリ^{5) 10)} Marpissa dybowskii Kulcznski
 ヤハズハエトリ⁹⁾ Marpissa elongata (Karsch)
 ヨダンハエトリ^{1) 9)} Marpissa pulla (Karsch)
 オスクロハエトリ^{1) 9)} Marpissa magister (Karsch)
 シラヒゲハエトリ^{4) 9)} Menemerus confusus Boes. et Str.
 メスジロハエトリ⁹⁾ Phintella versicolor (C. Koch)
 チャスジハエトリ^{4) 9)} Plexippus paykulli (Audouin)
 ミスジハエトリ^{1) 9) 9)} Plexippus setipes Karsch
 カラスハエトリ^{1) 9) *} Rhene atrata (Karsch)
 アオオビハエトリ^{4) 9)} Silerella vittata (Karsch)

アメイロハエトリ¹²⁾ Synagelides agoriformis Strand

アリグモ⁴³⁾ Myrmarachne japonica (Karsch)

ウススジハエトリ¹³⁾ Yaginumaella ususudi (Yaginuma)

ムツバハエトリ⁴⁾ Yaginumanis sexdentatus (Yaginuma)

注：8)と9)は比叡山のクモを調べたもので、京都府で採集したクモも一部含まれていると思われる。

引用文献

- 安藤尚, 1991. 滋賀県北・東部のトンボ. 滋賀県自然誌, 1725-1746. 滋賀県自然保護財団.
- 遠藤眞樹・細井正史・木村正, 1991. 滋賀県の蝶. 滋賀県自然誌, 1671-1704. 滋賀県自然保護財団.
- 橋本理市、貝発憲治、太田定浩, 1984. 鈴鹿山脈石灰岩地域の真正クモ類. 鈴鹿山脈北部自然科学調査報告書: 123-145.
- 保賀昭雄, 1991. 滋賀県下における食糞性コガネムシについて. 滋賀県自然誌, 1747-1766. 滋賀県自然保護財団.
- 市橋甫, 1991. 鈴鹿山脈(滋賀県)石灰岩地域の石灰洞穴及び鉾山跡洞穴に生息する節足動物. 滋賀県自然誌, 1585-1622. 滋賀県自然保護財団.
- 生嶋功, 1991. 琵琶湖の水草の変遷と現状. 琵琶湖の生物-現状と変遷, 70-84. 滋賀県琵琶湖研究所.
- 加村隆英, 1987a. 日本のワシグモ類(Ⅲ). Callilepis nocturna (LINNAEUS)と Zelotes potanini SCHENKEL. Atypus, (89): 1-6.
- KAMURA, T., 1987b. Two new species of the genus Zelotes (Araneae: Gnaphosidae) from Japan. Akitu, N. Ser., (85): 1-7.
- KAMURA, T., 1987c. Three species of the genus Drassyllus (Araneae: Gnaphosidae) from Japan. Acta arachnoi., 35(2): 77-88.
- KAMURA, T., 1988. A revision of the genus Gnaphosa (Araneae: Gnaphosidae) from Japan. Akitu, N. Ser. (97):1-14.
- KAMURA, T., 1989. A new species of the genus Herpyllus (Araneae: Gnaphosidae) from Japan. Arachnoi. Pap. pres. YAGINUMA, pp. 111-115. Osaka.
- 口分田政博・岡田登美男, 1991. 滋賀県の鳥類目録. 滋賀県自然誌, 1543-1558. 滋賀県自然保護財団.
- 松田征也, 1991. 滋賀県の淡水産貝類. 滋賀県自然誌, 1379-1398. 滋賀県自然保護財団.

- 三浦泰蔵, 1971. 琵琶湖の魚類. 琵琶湖国定公園学術調査報告書, 313-330. 滋賀県.
- 三浦泰蔵, 1991. 琵琶湖の動物プランクトンおよび軟体動物. 琵琶湖の生物—現状と変遷, 42-48. 滋賀県琵琶湖研究所.
- 宮崎俊行, 1991. 滋賀県南・西部のトンボ. 滋賀県自然誌, 1705-1724. 滋賀県自然保護財団.
- 水谷章, 1991. 滋賀県の蟻. 滋賀県自然誌, 1767-1772. 滋賀県自然保護財団.
- 森石雄, 1991. 愛知川源流域の昆虫. 滋賀県自然誌, 1623-1650. 滋賀県自然保護財団.
- 森主一, 1971. 琵琶湖の貝類. 琵琶湖国定公園学術調査報告書, 301-312. 滋賀県.
- 中賢治, 1991. 琵琶湖の魚類の変遷と現状. 琵琶湖の生物—現状と変遷, 55-64. 滋賀県琵琶湖研究所.
- 西川喜朗, 1972. 大阪府北部廃坑の蛛形類. 追手門学院大文紀 (6):95-102.
- 西川喜朗, 1975. ヤチグモ (*Coelotes exitialis*) の分布と変異について (予報). 追手門学院大文紀 (9):173-185.
- 西川喜朗, 1977a. トタテグモの分布について. *Atypus* (70):55.
- 西川喜朗, 1977b. 大阪府箕面産ヤチグモの3新種. *Acta arachnol.*, 27 (Special number): 33-44.
- Nishikawa, Y., 1980. A new *Coelotes* (Araneae, Agelenidae) from Central Japan. *J. spherleol. Soc. Japan*, 5: 38-42.
- 西川喜朗, 1987. 地下浅層性のデベソヤチグモについて. 追手門学院大学20周年記念論文集 (文学部編): 443-450.
- 西川喜朗, 1989. 多賀町の洞窟動物相. 多賀町の石灰洞: 36-52. 多賀町役場.
- Ol, R., 1960. Linyphiid spiders of Japan. *J. Inst. Polytech. Osaka City Univ., Japan, Ser. D*, 11:137-244.
- 岡田登美夫・山元孝吉, 1971. 琵琶湖周辺の野鳥. 琵琶湖国定公園学術調査報告書, 331-349. 滋賀県.
- 岡野巧, 1991. 琵琶湖の動物プランクトン. 滋賀県自然誌, 1335-1378. 滋賀県自然保護財団.
- 小野武比古, 1966. 比叡山のクモ. *Atypus* (41-42):60-63.
- 大志茂善平, 1954. 比叡山のクモ. *Atypus* (7):8.
- 新保友之, 1971. 琵琶湖周辺の昆虫相. 琵琶湖国定公園学術調査報告書, 373-438. 滋賀県.
- 新保友之, 1991. 滋賀県の昆虫相 (II). 滋賀県自然誌, 1791-1846. 滋賀県

自然保護財団.

新保友之・保積隆夫, 1979. 滋賀県の昆虫相. 滋賀県の自然(総合学術調査報告), 801-889. 滋賀県自然保護財団.

田中穂積, 1988. 日本の Arctosa (ミズコモリグモ) 属の1珍種. Atypus (91):5-8.

寺西敏夫, 1991. 鈴鹿山系北部の哺乳動物相—とくに食虫類・コウモリ類及びネズミ類を中心として. 滋賀県自然誌, 1473-1528. 滋賀県自然保護財団.

津田松苗, 1971. 琵琶湖の水生昆虫. 琵琶湖国定公園学術調査報告書, 285-299. 滋賀県.

友田淑郎, 1991. びわ湖の魚類—びわ湖の固有魚類と古びわ湖層群産魚類化石. 滋賀県自然誌, 1399-1458. 滋賀県自然保護財団.

植村利夫, 1939. 蜘蛛研究室室報 (3). Acta arachnol., 4:112-118.

若林徹哉, 1991. 琵琶湖の植物プランクトン. 琵琶湖の生物—現状と変遷, 2-31. 滋賀県琵琶湖研究所.

YAGINUMA, T., 1979. A study of the Japanese species of nesticid spiders. Fac. Let. Rev. Otomon Gakuin Univ., (13):255-287.

八木沼健夫・西川喜朗, 1980. ジグモ Atypus は2種いる. Atypus, (76):49-51.

安威川のクモ

西川喜朗

1993年11月14日、関西クモ研究会で安威川の生物調査を行いました。この調査で確認できたクモを以下に列記します。参加者・同定者はつぎの9名です：
金野晋，清水裕行，多賀研一，田中穂積，西川喜朗，畑守有紀，細田みどり，
牧野達也，吉田真
ご協力ありがとうございました。

1) 茨木市生保（バス停—左岸の畑）70-80m alt.

ウズグモ科	ヒラタグモ科
カタハリウズグモ	ヒラタグモ
ユウレイグモ科	タナグモ科
ユウレイグモ	シモフリヤチグモ
ヒメグモ科	カミガタヤチグモ
シロカネイソウロウグモ	ナミハグモの一種
オナガグモ	キシダグモ科
ヤリグモ	イオウイロハシリグモ
ヤホシヒメグモ	コモリグモ科
カニミジングモ	カガリビコモリグモ
ヒシガタグモ	ウヅキコモリグモ
ヒロハヒメグモ	ハリゲコモリグモの一種
ムナボシヒメグモ	ササグモ科
サラグモ科	ササグモ
デーニッツサラグモ	フクログモ科
ユノハマサラグモ	フクログモの一種
アリマネグモ	イタチグモ
コガネグモ科	カニグモ科
ゴミグモの一種	ワカバグモ
アシナガグモ科	オオヤミイロカニグモ
オオシロカネグモ	エビグモ科
コシロカネグモ	キエビグモ
タニマノドヨウグモ	ハエトリグモ科
ジョロウグモ	アリグモの一種
ヤサガタアシナガグモ	
アシナガグモ	

2) 茨木市車作登竜橋 S E (左岸) 100-120m alt.

トタテグモ科	タナグモ科
キノボリトタテグモ	カミガタヤチグモ
ウズグモ科	キシダグモ科
マネキグモ	イオウイロハシリグモ
ユウレイグモ科	ハヤテグモ
ユウレイグモ	アズマキシダグモ
ヒメグモ科	コモリグモ科
アシプトヒメグモ	キクヅキコモリグモ
シロカネイソウロウグモ	クラークコモリグモ
オナガグモ	キバラコモリグモ
チリイソウロウグモ	ササグモ科
カニミジグモ	ササグモ
ツクネグモ	フクログモ科
スネグロオチバヒメグモ	ヒメフクログモ
バラギヒメグモ	コムラウラシマグモ
ヒロハヒメグモ	シボグモ科
タカユヒメグモ	シボグモ
ホラヒメグモ科	アシダカグモ科
コホラヒメグモ	コアシダカグモ
サラグモ科	カニグモ科
デーニッツサラグモ	コハナグモ
ムネグロサラグモ	ハナグモ
ユノハマサラグモ	ワカバグモ
コガネグモ科	ハエトリグモ科
ナガコガネグモ	ネコハエトリ
ギンメッキゴミグモ	ヨダンハエトリ
ゴミグモ	アリグモ
アシナガグモ科	
ヒメアシナガグモ	
コシロカネグモ	
ジョロウグモ	
ヤサガタアシナガグモ	
アシナガグモ	

関西クモ研究会

会長	西川喜朗
編集	吉田 真
庶務	加村隆英
会計	山野忠清

くものいと 第14号

1994年3月10日発行

発行者 関西クモ研究会（代表西川喜朗）

〒567 大阪府茨木市西安威2-1-15

追手門学院大学生物学研究室内

T e l . 0 7 2 6 - 4 3 - 5 4 2 1

（内線5113西川研、5106加村研）

F a x . 0 7 2 6 - 4 3 - 5 4 2 7